

9年間をつなぐ学びの環境を整備

『教育のまち 松山』を実現し、児童・生徒の生きる力を育む主体的学習の場としての環境を目指して設計を進めます。

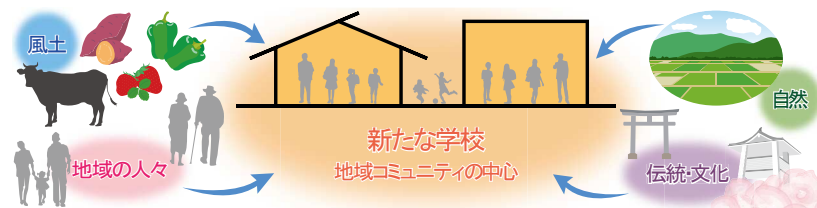
また、敷地・既存建物条件や近年の情勢を踏まえた施設整備の不安を解消するために以下の3つについて特に配慮した提案を行います。

- ・シンプルなローリングで学校・地域・行政の負担を軽減する。
- ・新築棟は既存棟と同じ地盤高さに設定し、バリアフリーの実現と工事負担軽減を図る。
- ・新たな設備（給排水・ガス・排気等）が必要な特別教室は十分に精査し、途中の中学校運営を見据えながら適切に整備する。



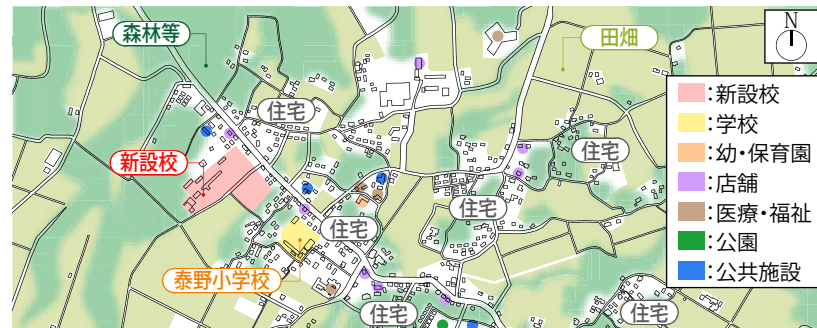
『学ぶ・集う・ともに育てる』を実現する地域コミュニティの中心

- ・地域に根ざした自然・風土・文化を取り入れた学校を実現します。伝統と文化を尊重し、郷土に誇りを持ちながら社会の一員としてお互いを認め合う子ども達の多世代交流の場を新たに提案します。



まちとつながる子育てネットワークの形成

- ・地域にある様々な施設・機能と連携を図ることで、児童生徒の教育や地域交流の他、安心安全の象徴としてのシンボルとなる拠点とします。

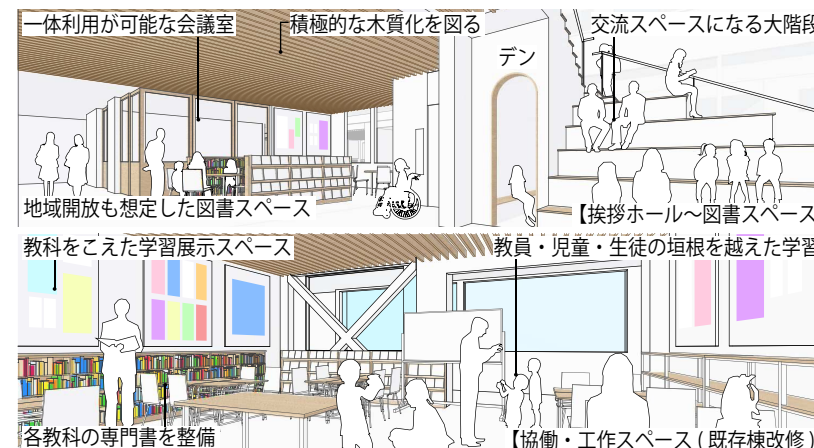


地域と繋がる松山地区らしい学びの実践

- ・地域開放ゾーンは昇降口に隣接し、日常的に地域住民が立ち寄りやすい計画にすると共に、管理が容易なゾーニング計画とします。
- ・会議室や特別教室は地域に開放を想定し、『教育のまち 松山』を実現する場とします。

児童・生徒と教員が学び合いやすくなる仕掛け

- ・気軽に相談や質問ができるオープンカウンターを職員室に設け、学習面や日常的なコミュニケーションを生み出す学校を提案します。
- ・特別教室、支援学級に協働の作業スペースを設け、教科横断的な学習や児童生徒同士の共同学習、教員との交流を促進します。



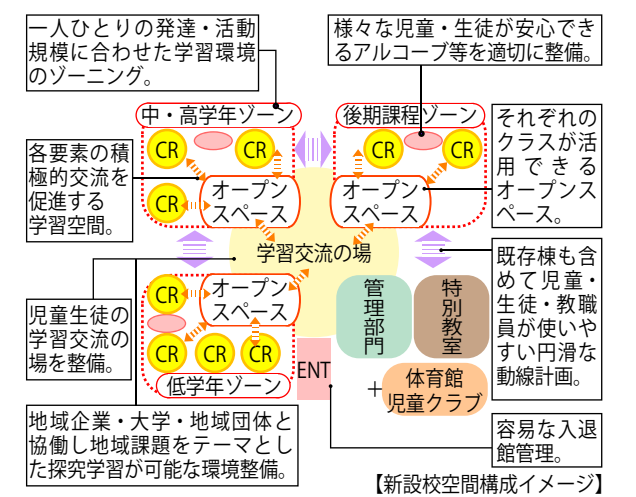
課題①『新しい時代の学び』を実現するための提案

9年間の成長を支える新しい「学習環境」の実現

- ・異学年の生徒児童が同一敷設内で生活するため、単なる教室集約ではなく、段階に応じた学習・生活環境の整備を心がけます。

■ 世代・学年・特性を越えた交流を生み出す学びの空間

- ・基本計画を基に、年齢・習熟度・活動環境の違いに配慮した、さまざまな児童生徒が活動できる施設を提案します。
- ・一人ひとりの成長に配慮した誰もが安心して過ごせるインクルーシブ教育に備えます。
- ・学年や教科の枠を越えて日常的な交流が生まれるラーニングcommonsやラウンジを適宜計画し、異学年交流や協働的学習を促進します。

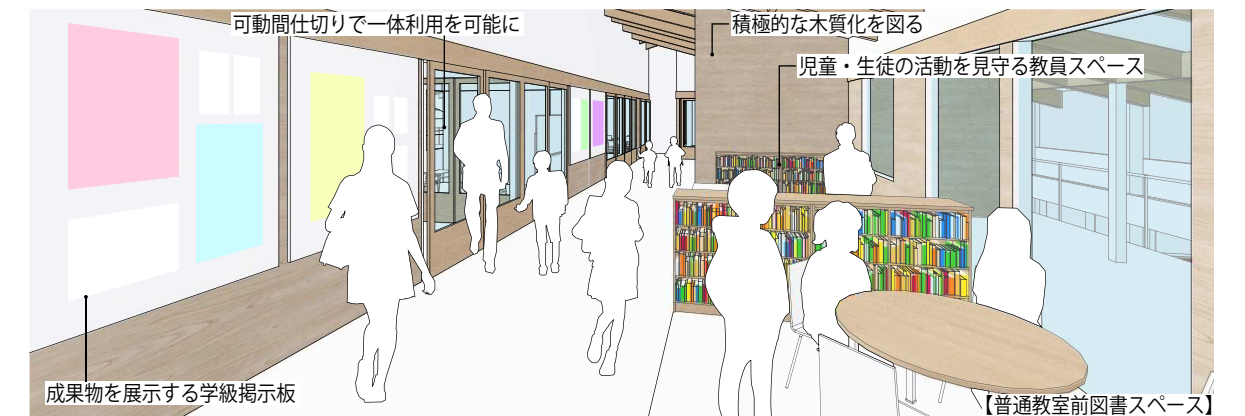
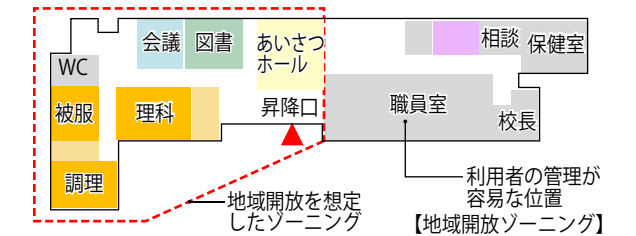


■ 学校全体で児童生徒が自律学習する環境整備

- ・教室に隣接してラーニングcommonsを設け、一人ひとりの学習内容や学習形態に応じた柔軟な主体的学習の環境を整備します。
- ・特別教室は図書スペースや協働ラウンジと連続して計画し、一連の探究活動を支える計画とします。

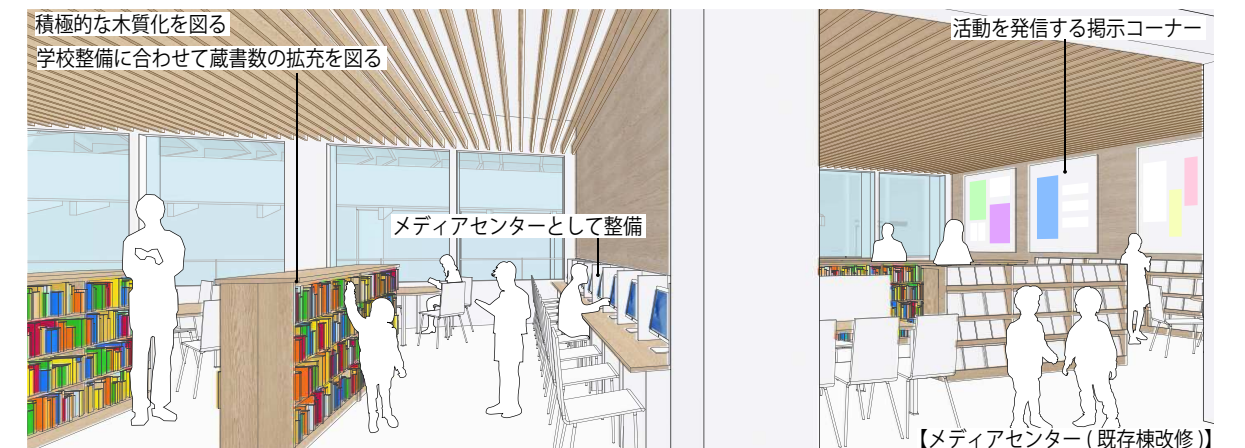
■ 個性を発揮する多様な学びの空間

- ・集中スペースや少人数で議論できるスペース等、多様な学習形態に対応した環境を整備します。
- ・可動間仕切りや可動棚で習熟度の違いに対応できる学習空間を整備します。



■ 9年間の学びをつなぐ「交流の中心」

- ・学年を越えた読書活動や探究学習を支える学びの中心として図書室・メディアセンターを整備します。異学年が日常的に交流できる図書空間を計画することで偶発的な児童・生徒間交流を創出します。
- ・適宜読書スペースを設け、学習支援の場とすると共に地域開放ゾーンの読書スペースとして地域読み聞かせ等にも活用できる様々な交流の場を生み出します。

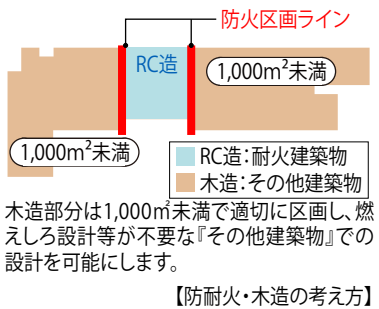


課題④物価高騰や人手不足を考慮したイニシャルコスト及びランニングコストの縮減に関する提案

安全・安心・快適で将来まで使い続けられる校舎

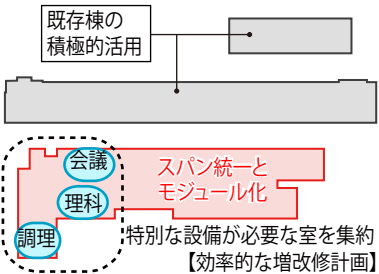
■ 徹底的に合理化を図る構造計画

- 新築部はシンプルな平面形状とすることで工事コストの低減を図ります。
- 設備シャフトや配管スペースは集約し、将来の更新性に配慮することで長く使い続けられる計画とします。
- 1,000 m²以内ごとに適切な区画を設け、木造化と地域木材利用を計画します。



■ 既存校舎を活用したローコストな改修計画

- 既存ストックの積極的活用で新築面積を必要最小限に抑え、コストと環境負荷を同時に低減します。
- 給排水・ガス・排気が必要な特別教室は新築棟へ集約し、既存棟改修量の削減と、設備更新性に配慮します。
- 新築面積の縮小と木造化による軽量化により杭工事の負担軽減を図ります。



■ モジュール化による社会の変化に対応する建設計画

- スパンの統一とモジュール化で部材・内装を標準化することで施工性の向上を図り、維持管理の効率化と人手不足に対応した建設計画とします。
- プレキャスト・プレカット可能な部材で設計を行い、現場以外での作業を可能にし工期短縮を図ります。

■ 徹底的に無駄を省き LCC を抑える各部計画

- 合理的な設計と効率的な施工方法を検討し、コスト削減を徹底します。
- 日常的な維持管理から機器修繕・更新などメンテナンスを見越した計画でランニングコストの縮減を図ります。

●イニシャルコスト縮減に向けた取り組み項目

土工事	建物軽量化により基礎断面を最小化、土工事を削減 / 掘削土は外構整備に転用、搬出土を削減
本体工事	汎用品や地場産材の積極的な利用 / 規格化で施工期間の短縮 / 使用材料の最適化
仮設工事	大型重機の利用を極力減らす工法の検討 / ゆとりある工事ヤード設定で工事の効率化を実現

●ランニングコスト縮減・長寿命化に向けた取り組み項目

補修・保全	耐久性・耐候性の高い素材選択 / 庇による外壁保護 / 補修・保全スペースの確保
設備機器	省メンテナンス機器の採用 / 点検・管理が容易な方式の採用 / 道連れ工事が不要なルート計画
内外装仕上	経年変化を楽しめる木質化の採用 / 乾式工法で更新性に配慮 / 清掃が容易な仕上げ材の選定

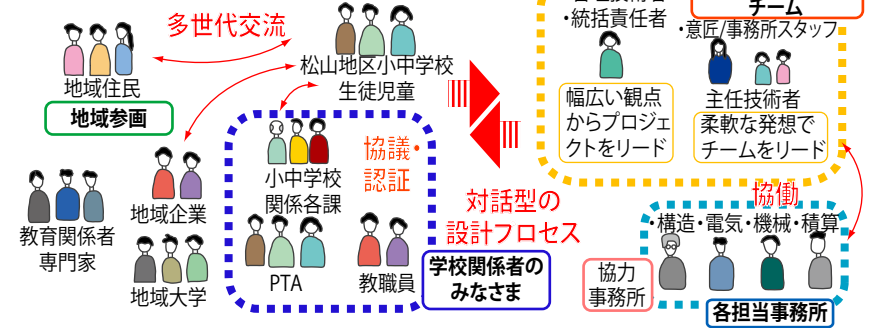
課題⑤その他、独自提案

地域連携から実現する新たな地域の拠点をつくるプロセス

■ 地域や関係者と一丸となって「新たな学び」を実現するプロセス

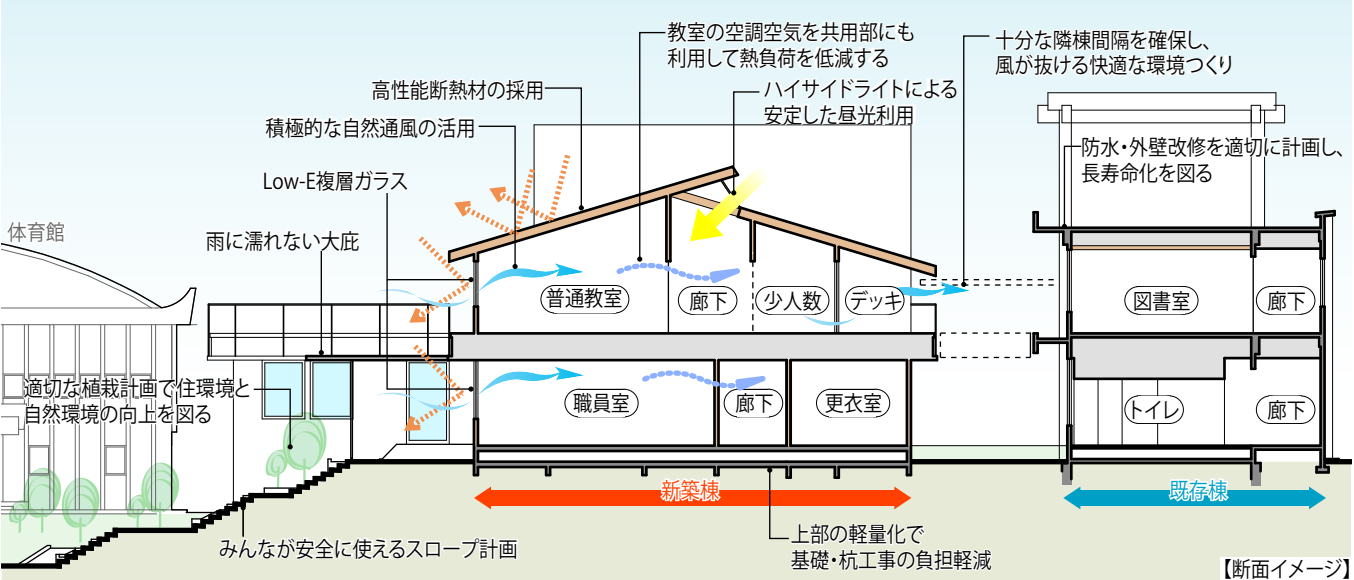
- 児童生徒・保護者・教職員・地域・担当行政職員と設計チームが綿密に協力し長く地域に携わっていく事を目指します。
- 教育施設設計の経験豊富な設計チームが高度な専門性を活かして多世代交流と地域活動の核となる学校づくりのプロセスを展開します。

■松山地区義務教育学校設計チーム



■ 子どもに寄り添った快適な生活を実現する環境建築

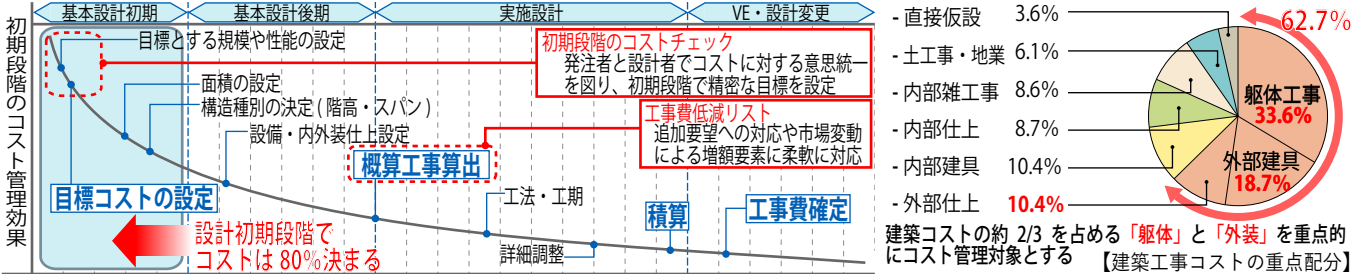
- 子どもの生活の場として、敷地環境を読み解き快適で心地よい施設を目指します。「パッシブデザイン」と「アクティブデザイン」それぞれ適材適所の提案を行います。



- 高性能断熱材・Low-E 複層ガラスを効果的に活用し、外皮の熱負荷を軽減すると共に、自然通風・昼光利用を積極的に取り入れランニングコストの軽減を図ります。
- 自然エネルギーや先進技術を活用しながら無理なく ZEB ready 同等の一次エネルギー削減を目指します。

■ 初期段階を重視した設計マネジメントコントロール

- コスト縮減効果の大きい要素を重点的にコントロールすることで資材調達の優位性を比較し、最良案を選定した上で実状に沿う提案を行います。
- コスト決定に影響の大きい設計初期段階を重視したコスト管理で高品質な施設を実現します。

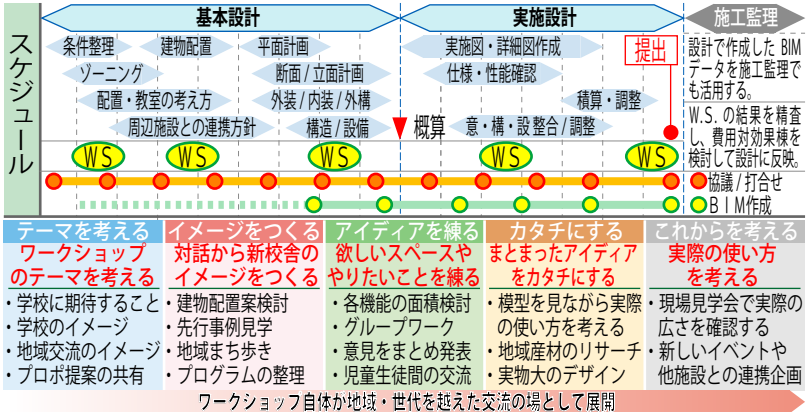


■ プロジェクトをスムーズに進める的確な工程管理

- 設計の各段階や打合せ毎の課題と決定スケジュールを明確にし、関係者と進捗を共有しながら遅延なく確実に業務を遂行します。
- 管理・主任技術者に加え、熟練スタッフと技術担当者を配置し、円滑な意見合意を行いながらプロジェクト全体を統括します。

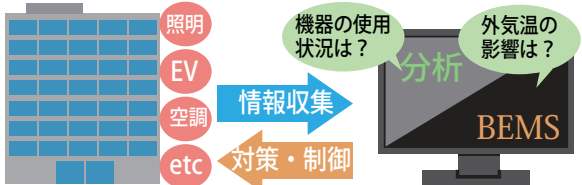
■ みんなとつくる「教育のまち松山」の実現

- 児童生徒・保護者・教職員・地域住民へアンケートを実施し、新しい学校に期待することや地域課題を幅広く把握します。
- まち歩きやインタビューを企画し、地域資源や歴史、日常の暮らし、防災上の課題などを拾い出し、設計に反映します。
- ワークショップを定期的に開催し、多世代の対話を取りまとめ、活動そのものが地域学習の場となる提案します。



■ 「見える化」でエコ啓蒙の教育現場として

- BEMS を導入して自然エネルギーを積極的に活用した設備による効果を数値化する「見える化」を提案します。
- エネルギー管理の効率化とコスト削減の効果を児童生徒や来館者に伝えると共に、自然環境の大切さが体感できる教育現場を計画します。

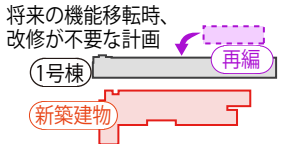


■ 地域の素材を地産地消する

- 木材の地域産材活用などを検討し、脱炭素化への配慮と共に、地域経済の循環への貢献と子ども達の郷土愛を育むきっかけづくりを提案します。

■ 将来の再編を見据えた改修

- 将来の再編の際に、運営の一時停止と二重のコスト消費が発生しない計画を心がけます。



■ 実状に沿ったコスト管理

- 昨今の世界情勢を反映しながら分析、類似施設の費用調査を早期に実施し、適切な時期に工事費概算を行うことで的確なコスト把握を行います。

◆概算金額（参考）	（税込）
○新築工事：	¥ 1,507,000,000-
○改修工事（屋内運動場空調設備設置工事を含む）：	¥ 363,000,000-
○その他（外構・造成・屋外トイレ・駐輪場・渡り廊下等）：	¥ 319,000,000-
合計：	¥ 2,189,000,000-

■ 工事そのものを教育資源として活用する

- 現場見学を総合的な学習として企画し、独自の学びと思い入れが芽生える展開を提案します。



■ イメージを共有し課題を早期に解決

- 早期から設計 BIM 担当者が 3D モデルを作成。イメージを共有しながら様々な要望に対応します。

